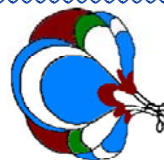


気球船



第 224 号

平成 21 年 3・4 月

文 部 科 学 省

初 等 中 等 教 育 局

国 際 教 育 課

編 集 ・ 発 行

初版発行昭和62年12月

海外子女教育総合HP: http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/main7_a2.htm

世界の窓

世界に4校、準全日制補習校

グアダラハラ補習授業校

校長 長田和司

○太陽の国メキシコ

グアダラハラという地名には、あまりなじみがないと思いますが、本校のあるグアダラハラは温暖な気候に恵まれたメキシコ第二の都市です。メキシコは太陽の国ですので、日中の日差しは大変厳しいです。しかし、グアダラハラは高地にあるため気温はさほど上がらず、大変過ごしやすい気候の街です。

歴史的には、スペインの統治下にあったので、市街地の中心(セントロ)から放射状に道路がのび、街路樹も多く、日本やアメリカとは違った街並みをつくっています。また、街のあちこちに、教会やオブジェなどを目にする事ができ、歴史を感じさせてくれます。補習校の横にも「水道橋」があり、春にはハカランダという紫色の花が橋を飾り大変きれいです。



(補習校横の水道橋)

メキシコ人は大変おおらかで、誰とでも気軽に挨拶を交わします。「アミーゴ、アミーガ」という友だちを意味するスペイン語がありますが、この言葉は誰に対しても「アミーゴ、アミーガ」として接するこの国の人々の人柄をよく表しています。

○準全日制補習校とは

本校は準全日制という形態で運営され、現在幼稚園から中学3年生までの子どもたち25名が在籍しています。

大規模補習校と違い、子どもたちは月曜日から金曜日までの夕方2時間、補習校で学習します。小学部3年生までの子どもたちは4時から5時45分まで、小学部4年生から中学部3年生までの子どもたちは6時から7時45分まで、それぞれの時間に学習します。教科は国語、算数(数学)、理科(生活)、社会の4教科で、日本の教育課程に沿って学習しています。子どもたちの中には、母語がスペイン語の子どもたちもおり、その子どもたちは、国際学級というクラスで、週3回、日本語の学習をしています。

子どもたちは例外なく、日中はアメリカンスクールなどの現地校に通っています。シエスタの国ですので、2時半くらいまでに現地校は終わり、夕方補習校に通ってきます。ダブルスクールは大変だという声も聞きますが、「2つの国の文化に触れ、世界を広げられるのだから、これほど幸せなことは無い。」と、子どもたちには、繰り返し話しています。

○補習校の1年

本校は前半部と後半部で授業を行っていますので、どうしても、前半部と後半部のつながりが希薄になります。そこで、年に数回の行事を行い、その準備や活動を通して、子どもたちの交流を深めようと考えています。また、行事の練習、準備などを通して少しずつでも日本の文化を伝えられればと考えています。

昨年、5月には「グアダラハラ動物園」への遠足

を行いました。子どもたちは5つの縦割り班に分かれ、動物園内を散策しました。この時は、もちろん、スペイン語を母語としている子どもたちが大活躍で、アイスクリームを注文したり、飼育委員に質問したり、スペイン語の話せない子どもたちの通訳をしていました。



(動物園への遠足)

8月には「補習校祭り」を行いました。先生方が「わなげ」「まとあて」などのゲームを担当し、縦割り班で得点を競いました。保護者のみなさんが用意してくれた「スイカ割り」や「くじびき」も好評でした。手作りの御輿を担いだり、「盆踊り」も踊り、ささやかですが日本の文化をみんなで楽しむことができました。

10月には「学習発表会」を行いました。25人みんなで一つの発表をしたいという先生方の考えから、全校劇に取り組むこととしました。日本の文化にふれることをめあてとして「夕鶴」に取り組みました。幼稚園から中3までの子どもたち、みんなに出番があるように先生方が苦心して台本をつくり、一つの劇を作り上げることができました。保護者のみなさんにも大変喜んでいただきました。



(学習発表会)

小学部4年生以上の子どもたちは、日頃の学習の成果を5分ほどにまとめ、保護者を聞き手としてポスターセッションも行いました。お父さんお母さんの鋭い質問に、たじたとになりながらも、良い学習の機会となりました。11月には「運動会」を行いました。当地では6月から10月の間は雨季にあたり、時折激しい雨が降ります。雨季の終わった11月は青空が澄み渡り、運動会には最適な気候です。在籍数が減り、参加人数が少しさみしくなりましたが、準備が簡単で楽しめる競技を増やして行っています。参加者は、次々に参加しなければならず大変だと言いながら、楽しんで下さっています。

補習校では、他にも7月の七夕飾り作りや1月の正月行事を行い子どもたちの交流を深めたり、日本文化にふれる機会を作ったりしています。



(運動会)

○今後の課題

保護者のみなさんから、円高などの影響による仕事の大変さをお聞きします。企業が駐在員を減らす傾向にあるのは間違いないようです。本校の在籍数も緩やかに減少しており、運営面での課題も出てきています。ただ、こういう時こそ、子どもたちの学習を支えるという補習校の使命が重みを増すのでは無いかと考えています。微力ながら子どもたちの置かれた状況を理解するように努め、補習校が良い形で存続するようみんなで考えていきたいと思っています。



上海・杭州日本人学校を見て

初等中等教育局児童生徒課
生徒指導第一係
岡本泰弘

本年2月26日から2月29日にかけて、上海市と杭州市へと出張する機会をいただいた。

上海市は、言わずと知れたアジア有数の大都市で、そこで暮らす日本人は4万人を超えるという。2010年には万国博が開催されるなど、今後益々世界から注目されるであろう世界都市である。杭州市は上海市の西南に位置し、名所である西湖には多数の観光客が訪れる歴史ある都市だが、多くの大学が存在するなど、優秀な人材を多く輩出し、上海市に近いという好立地条件とも重なって、近年は経済発展が著しく、日系企業も多数進出している。

今回は、上海日本人学校虹橋校、上海日本人学校浦東校、杭州日本人学校の3校を見学させていただいた。年度末のお忙しい時期にも関わらず、快く迎え入れていただいた先生方、学校運営委員会等の方々には感謝の気持ちを込めて、私なりに感じたことをご紹介します。

1 上海日本人学校虹橋校

上海日本人学校虹橋校は、昭和62年に開校され、児童数1,452名の大規模校である。学校にお邪魔すると、すぐに、通りかかる子どもたちが元気な声で「こんにちわ！」と出迎えてくれた。授業中、子どもたちの真剣な表情を見て、学校の児童生活目標「いつも にこにこ 一生懸命」が日々実践されていると感じた。

驚いたのは、子どもたちの下校時。下校時刻の校門周辺には送り迎え用の六十台近くの大型バスが待機している。終業のチャイムが鳴ると、子どもたちが一斉に外に出てくるが、とても規律良く整列し、先生方の指示にしたがって、順次、バスに乗り込んでいく。そして、バスが動き出すと、先生方が校門の外に出て、子どもたちの乗るバスに思いっきり手を振って見送る姿に、先生と子どもたちの距離が近く、温かい雰囲気が感じられた。

2 上海日本人学校浦東校

虹橋校の児童生徒数が増加したことから、平成

18年に開校された新しい学校である。児童数624名、生徒数541名の、こちらも虹橋校に負けないくらいの大規模校である。浦東校でも、虹橋校と同じく、元気いっぱい挨拶してくれる子どもたちに、こちらも自然と笑みがこぼれる。特別支援学級の授業を比較的長い時間見させていただいたが、個々の生徒に応じたきめ細かい指導をされていたのが印象的である。また、図書室の環境がとて良く、書籍の充実ぶりも見事だが、何よりも、親御さんたちが日替わりで図書室にいらして、室内の飾りつけなど、子どもたちが図書室に来やすい雰囲気を出すために、様々な工夫がなされていた。

3 杭州日本人学校

杭州日本人学校は、本年度開校した新しい学校である。現地の方々の悲願だった、学校の設立に当たっては、先生方、学校運営委員会の方々などが一丸となって多くの困難を乗り越えご尽力されたとのことで、そのご苦労に頭の下がる思いだった。児童数は13名と少人数であるが、授業では、子どもたちが先生とほぼマンツーマンで教えてもらっていたり、複数学年の合同授業が行われていたりして、家庭的な雰囲気の中で、子どもたちの授業に向かう姿勢は真剣そのものだった。また、保護者との交流や現地の大学生のボランティア参加、現地企業への社会見学など、地域の人たちとの交流も活発に行われているようで、学校に関わる方たちとの強いつながりが印象的だった。

4 最後に

上海と杭州の日本人学校の学校運営委員会の方たちともお会いし、お話する機会をいただいた。ある委員の方のお話がとても印象に残っている。「日本人学校は、現地で働く日本人にとっては、学校以上の価値がある。慣れない土地で家族が過ごすため、不安や心配は尽きないが、地域に日本人学校があることで、学校を介して、子どもだけでなく親同士の結びつきもでき、とても気持ち楽になる。日本にいる時よりも学校を身近に感じ、より地域と学校と家庭がつながっているように感じる。」

今回訪れた3校とも、学校を中心としたコミュニティが形成され、学校に関わる多くの方たちの思いやお姿を見聞きすることができたことに感謝したい。

「国際理解教育実践事例集
中学校・高等学校編」のご案内

国際理解教育第一係 是國 裕光

文部科学省では、この度、有識者や学校の教員にご協力を頂き、本事例集を作成し、昨年に関各都道府県及び指定都市の教育委員会に配布いたしました。また、「国際理解教育実践事例集中学校・高等学校編」(発行者:教育出版)として刊行しておりますので、学校等において幅広くご活用ください。

本書の特色としては、全国の中学校及び高等学校における国際理解教育に関する優れた取り組みを集め、その実践事例や教育課程との関連付け、全体学習計画などを盛り込み、各学校においては活用し易くなるよう取りまとめています。

国内の学校や教育委員会、また在外教育施設の関係者の皆様におかれては、是非本書を有効活用して頂きたいと考えています。

また、小学校編については現在作成中であり、発刊の際には、改めてご案内させていただきます。

🌸 事務連絡 🌸

人事異動のお知らせ

庶務・助成係長 小島 英樹

このたび、4月1日付で人事異動がありましたのでお知らせいたします。

(転出)

山下 恭徳 課長補佐(併)外国人児童生徒教育専門官
→ 研究振興局学術研究助成課企画室長

坂本 淳一 海外子女教育専門官
→ 財務課教職員配置計画専門官

荒井 忠行 庶務・助成係長(併)在外教育施設指導係長
→ 大臣官房国際課総務係長

飯塚 康 教職員給与係長
→ 参事官(学校運営支援担当)付専門職(庶務担当)

増田 雄護 教職員給与係
→ 児童生徒課生徒指導企画係

西尾 佐枝子 教職員派遣係
→ 教育課程課教育課程第二係

新井 慶子 教職員派遣係
→ 東京学芸大学

岩澤 亮輔 在外教育施設指導係
→ 東京工業大学

川窪 百合子 適応・日本語指導係
→ 大臣官房国際課企画調整室

小林 優一 適応・日本語指導係
→ 大臣官房総務課行政改革推進室(内閣官房地域活性化統合事務局)

是國 裕光 国際理解教育第一係
→ 広島大学

西村 久仁美 国際理解教育第二係
→ 京都市立西京高等学校

水流 妙子 庶務・助成係
→ 退職

(転入)

柳澤 好治 大臣官房政策課税制専門官
→ 課長補佐(併)外国人児童生徒教育専門官

伊藤 文昭 京都府教育庁
→ 外国語教育推進室室長補佐(併)外国語教育推進専門官

- 牧野 映也 信州大学財務課長
→ 海外子女教育専門官
- 高橋 信雄 内閣府事務官(食育企画第1
担当主査)
→ 教職員給与係長
- 小島 英樹 初等中等教育企画課専門職
→ 庶務・助成係長(併)在外教
育施設指導係長
- 柴沼 睦 内閣府
→ 教職員給与係
- 小宅 直樹 大臣官房国際課
→ 教職員派遣係
- 前田 綾香 東京学芸大学
→ 教職員派遣係
- 秋月 真也 浜松市教育委員会
→ 適応・日本語指導係専門職
- 湯浅 一哉 大阪大学
→ 国際理解教育係
- 大橋 史明 豊橋市
→ 外国語教育推進室企画調整係
- 金子 宜央 国際統括官付
→ 外国語教育推進室事業推進係
- 花田 百合 京都市立嵐山小学校
→ 外国語教育推進室事業推進係
- (新規採用)
青木 知佳 庶務・助成係
- 程塚 千晶 在外教育施設指導係



🌸 退任者挨拶 🌸

(※肩書きは退任時のものです。)

国際教育課課長補佐 山下 恭徳

4月1日付で、研究振興局学術研究助成課企画室長を拝命いたしました。

私は、平成19年1月に国際教育課に異動いたしました。それから2年3ヶ月の間、企画業務、外国人児童生徒教育に関する業務、国際理解教育に関する業務、在外教育施設の課程の認定業務などを担当いたしました。

この間の思い出としては、中国の杭州日本人学校と深セン日本人学校の設立及び教育課程の認定の仕事を担当させていただき、その関係で、現地視察を行うとともに現地の日本人会等の関係者の皆様とお会いする機会をもてたことです。

また、外国人児童生徒教育に関し、関東、東海を中心に全国の様々な地域の学校を訪問し、多くの先生方や子どもたちにお会いできたことや、有識者会議の事務局として、提言の取りまとめに関する事務を担当させていただいたことなども印象深い仕事でした。

3月末で国際教育課を離れましたが、当課で携わった外国人児童生徒教育や海外子女教育について、今後も勉強を続け、再び、これらの仕事に携わる機会を持つことができると考えています。

この2年あまりの間、色々取り組んできたつもりですが、至らない面も多々あったのではないかと思います。このことについて深くお詫びを申し上げますとともに、関係の皆様の方々の益々のご活躍と国際教育の更なる発展を祈念いたしまして、異動のご挨拶とさせていただきます。

海外子女教育専門官 坂本 淳一

平成19年4月の着任以来早2年、業務の引き継ぎもそこに平成19年度派遣の先生方の辞令交付式を終え、久しぶりに海外子女教育の現場に戻ってきたことを実感したのがつい昨日のことのように思い出されます。

私は平成3年11月から平成10年12月まで、外務省への2年の出向期間を含めて通算7年間、

国際教育課の前身である海外子女教育課で勤務しました。外国人児童生徒向けの日本語指導教材「にほんごをまなぼう」の作成やホームページ「クラリネット」の立ち上げに携わったほか、ペルー大使公邸占拠事件やジャカルタ暴動の際の危機対応に追われたことなどが強く印象に残っています。

約10年ぶりに「古巣」に戻り、今度は先生方の派遣・給与のお世話をする立場になって最も苦慮したことは、何と言っても派遣教員数確保の難しさでした。毎年が押し迫ったところに、管理職の先生方とはかなりシビアなやりとりをさせていただきましたが、正直この厳しい状況はこれから先も続いていくのではないかと考えています。

しかし、児童生徒数の減や多様な教育ニーズへの対応など、在外教育施設は大きな岐路に立たされており、派遣教員の数を措置するだけでそのすべてが解決されるわけではありません。いま一度設立当初の原点に立ち返って、派遣教員ばかりではなく、在留邦人の方々、保護者の皆さん方が一体となって、それぞれの役割を(当事者意識を持ちながら)果たしていかなければ、これからの厳しい局面は乗り切っていけないと思います。

退任のご挨拶で苦言めいたことを申し上げるのは心苦しいのですが、10年近く海外子女教育に携わってきた「応援団」の一人として、関係者の方々の益々のご尽力とご理解を引き続きお願いしたいと思っています。

この4月からは、同じ初等中等教育局の財務課で、今度は国内の公立学校の教職員定数を担当することとなり、私自身も更なるイバラの道が続きますが、派遣教員の先生方におかれてはご健康に留意され、ご家族そろって元気に帰国されますことを、お祈りしております。

2年間大変お世話になりました。皆様の暖かいお力添えに深く感謝いたします。

庶務・助成係長
(併)在外教育施設指導係長
荒井 忠行

このたび4月1日付けで大臣官房国際課総務係長を拝命しました。

国際教育課には、

- ・平成16年4月
専門職(外務省領事局政策課 併任)

- ・平成18年4月

在外教育施設指導係長

- ・平成19年2月

庶務・助成係長 併任

と、5年間に渡り在籍しました。

在任期間中、数多くの在外教育施設関係者の皆様にお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

海外子女教育に関わってから、「国内の子どもの教育環境に少しでも近づきたい」との思いで、教科書の無償給与、教材等整備、安全対策などの業務に従事してきました。しかしながら、海外という特殊な状況のために、限界を感じることも多々ありました。

また、この5年間、日本人学校校長研究協議会等で数多くの日本人学校等を訪問する機会を頂きましたが、各国・地域毎に様々な課題を抱えていることを痛感しました。

これら海外子女教育の諸課題に関する国際教育課の役割は極めて重要であります。今後とも、海外子女教育の根を絶やすことのないよう、在外教育施設、外務省、海外子女教育振興財団と協力しながら、海外子女教育を推進していくことを切に願います。

さて、異動先の大臣官房国際課は、国連大学・OECD・国際交流・国際協力その他、教育に関する国際的な施策を所掌しています。その中で、私は課内及び大臣官房国際統括官付の人事・総務・予算等を担当します。大臣官房国際課においても、在外公館に赴任する当省職員へのブリーフィングや、定住外国人への教育支援などを通じて、外務省及び国際教育課で培ったものを、少しでも役立てていきたいと思っています。

最後になりましたが、在外教育施設派遣教員の皆様が各地でご活躍され、また、ご無事に帰国されますことを、心よりお祈り致します。

教職員給与係長 飯塚 康

2年間、在外教育施設の手当に携わって私が感じたことは、教員との距離が近いということでした。

今までの行政経験の中で教員と直接、接することは少なく、教委を通じての業務であっただけに、教職員給与係の仕事はとても新鮮に感じる事となった。

これらのことは、今までの私の経験の中では無く、教委を通しての業務であったため、教員を常に想定した仕事では無かったように思えます。

今後も行政事務として、教員と関わる立場としては、給与係での経験を生かし、現場のことを少しでも考えることができると感じています。

最後になりますが、関わりのありました全ての派遣教員の方々にお礼いたします。

ありがとうございました。

教職員給与係 増田 雄護

「今の自分は、19年4月の自分より成長することができているだろうか」

今回「退任の挨拶」を書かせていただくにあたり、真っ先に思い浮かんだことです。

というのも、19年4月発行の気球船において、『最上の幸福は、一年の終わりにおいて、年頭における自分よりもよくなったと感ずることである』というトルストイの言葉を引用し、「今年度末に振り返り、本日よりも成長できたと思える1年間にしたい」と宣言した(してしまった)ことを思い出したからです。

教職員給与係において2年間お世話になりました。在任中は、子どもたちのために異国の地で頑張っておられる先生方のために(ひいては子どもたちのために)、教職員給与係に身を置く自分にできることは何か、というところを常に自問自答しながらやってきたつもりですが、当係から先生方をお願いする諸手続(特に再提出依頼等)は、(ある意味で)先生方の仕事と対極的なところにあるもので、御迷惑をおかけすることも多々あったかと思えます。

しかし、先生方と直接やりとりをさせていただいた2年間は、私にとってとても大きな財産となり、それを糧に成長することができたと思えます。

平成21年4月1日付けにて、初等中等教育局児童生徒課生徒指導企画係へ着任しています。

関係各位の方々におかれましては、引き続き海外子女教育へお力添えいただければ幸いです。

教職員派遣係 西尾 佐枝子

4月1日付けで、初等中等教育局教育課程課へ異動になりました。

教職員派遣係として2年間、派遣教員の先生方の選考面接や研修会などで様々な先生方にお会いすることができました。子どもの頃、日本人学校で学んだことのある私はこの仕事に格別の思いもあったので異動はとってもさみしいものがあります。

学校訪問時には、先生方の子どもたちと奮闘している姿を拝見したり、各校の抱えている課題を直接伺うことができ、日々の業務を行う上で大変役に立ちました。

また、3月には任期を終えて帰国した先生方はさすがにお疲れな様子も見受けられるものの、任期を全うされて無事に帰国できたことに対する充足感や安堵感も感じられ、そんな様子を拝見していて私たちもほっと胸をなでおろすことができました。

最後に、海外派遣中の先生方のご健康とますますのご活躍を心よりお祈りしております。無事に任期を終えて帰国されることをお待ちしております。2年間お世話になりました、本当にありがとうございました。

教職員派遣係 新井 慶子

行政実務研修生として、1年間お世話になりました。

至らぬところが多く御迷惑をお掛け致しました。

「国際」というものと縁遠い人生を今まで送ってまいりましたので、この1年間は、聞くこと見ること全てが貴重な経験となりました。

現在4月より、所属の東京学芸大学に戻り、教員志望の学生に囲まれて仕事をしております。数年後には、在外教育施設へ派遣される方もいるのかなあと窓口に来る学生を見ては、考えております。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

在外教育施設指導係 岩澤 亮輔

文部科学省での1年間の研修を終え、東京工業大学総務部人事課に配属となりました。引き続き、米国のモンタナ州立大学で研修に参加して

おります。

国際教育課在職中は、大変お世話になりました。これまで大学で教員を対象にした仕事しかしていなかった自分にとって、海外子女教育という領域はとても新鮮な経験でした。慣れない部分もあり、ご迷惑をおかけすることもございましたが、この研修を通じて、仕事をする上での視野を広げることが出来たと強く感じております。

この研修で身につけたことを次のステップにつなげられるよう、頑張っていきたいと思っております。

最後となりましたが、在外教育施設のますますの発展と、それに携われる皆様のもますますのご活躍をお祈りいたします。本当にありがとうございました。

適応・日本語指導係 川窪 百合子

4月1日付けで大臣官房国際課企画調整室に異動しました。

国際教育課では、平成18年4月から平成19年3月まで在外教育施設指導係に、平成19年4月から平成21年3月まで適応・日本語指導係に在職し、多くの方に大変お世話になりました。在外教育施設指導係では、海外への教科書無償給与や、緊急時対応等、海外子女教育関係の業務に携わり、大変貴重な経験をさせていただきました。また、適応・日本語指導係では、帰国・外国人児童生徒教育の充実に関する業務に携わり、有識者会議「初等中等教育における外国人児童生徒教育の充実のための検討会」の運営や外国人児童生徒教育に関する事業の実施等を行いました。在職中で特に印象に残っているのは、学校現場で先生方が外国人の子ども一人一人に合う指導を行い、子どもたちが「わかった！」と元気に発言している姿を拝見したことでした。

新しい部署は大臣官房国際課企画調整係で、引き続き、外国人の子どもの教育施策に携わることとなります。

昨今の景気後退でブラジル人学校等に通学している子どもは、就学が困難な状況になりつつあります。このような厳しい社会情勢の中で、外国人の子どもが安心して楽しく勉学に励むことができるよう、就学支援を積極的に行っていきたいと

考えております。

最後になりますが、海外子女教育、帰国・外国人児童生徒教育に携わる多くの方々には大変お世話になりました。この場をお借りして心より御礼申し上げますとともに、皆様のご活躍とご健康をお祈り致します。

適応・日本語指導係 小林 優一

4月1日付で内閣官房地域活性化統合事務局に異動することになりました。

国際教育課には、平成18年10月に、入省して初めての部署として、配属していただき、何もわからない中、まわりの方々に迷惑をかけつつ、いろいろなことを教えていただき、少しずつ社会人としてのイロハを学ばせていただきました。

在職中は、実際に学校に行き、授業を見たりすることができ、非常に貴重な体験をさせていただき、ただ事務をするだけでなく、自分なりに考えながら仕事をする大切さ等多くのことを学ばせていただきました。これもひとえに皆様のおかげだと思っています。

4月1日からは、内閣官房で構造改革特区や地域再生等今までとはまったく違う分野での仕事に携わることとなります。

しかし、国際教育課で学んだ多くのことは、きっと内閣官房でも通用するはずだと信じています。

縁あってお会いできた皆様とは今後もきっとどこかで再会できると信じています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2年半の間、どうもありがとうございました。

国際理解教育第一係 是國 裕光

文部科学省での1年間の国際業務研修を修了し、現在は米国のモンタナ州立大学等で行われます、文部科学省の1年間の海外研修プログラムに参加しています。

国際教育課に在職した1年間、皆様には大変お世話になりました。大学職員ではできないような貴重な経験を積むことができたとともに、初等中等教育に関わることにより、考え方や知識の幅が広がり、とても有意義な1年間でした。

来年3月、文部科学省と米国での研修を終え、所属機関の広島大学に戻る予定です。研修で得た経験を活かしながら、多くの学生さんに、この大学に来てよかったと思われる大学を目指して頑張っていきたいと思います。

1年間本当にありがとうございました。

国際理解教育第二係 西村 久仁美

3月31日をもちまして文部科学省での地方行政実務研修を修了致しました。予定通り4月より前勤務校である京都市立西京高等学校に戻り高校3年生の担任として以前と変わらず仕事を続けております。

国際教育課に在職していた折は、学校現場では経験できない貴重な経験をすることができました。またSELHiは、教育委員会の指導主事をはじめ、企画評価委員の皆様、教科調査官の先生方に大変お世話になり、今後必ず生きてくると思います。この場を借りまして御礼を申し上げます。

国際教育課の皆様には何かの折に、またお世話になることもあるかと思いますが、よろしく願います。1年間ありがとうございました。

庶務・助成係 水流 妙子

この度、平成21年3月30日付けで退職致しました。国際教育課では1年間と短い間でしたが、職員の方々の諸手当や出張、会議の旅費関係を担当させていただきました。

不慣れな点が多く課内の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、優しくサポートしていただいたお陰でこの一年を何とか乗り切ることが出来ました。

退職後は文科省での経験を生かせるよう次のステップアップに挑戦していく決意です。

一年間お世話になり、本当にありがとうございました。



就任者挨拶

国際教育課課長補佐 柳澤 好治

4月1日付けで、大臣官房政策課の税制専門官から異動になりました。これまで、専ら省内の調整役の部署だったため、海外はおろか、国内出張すらも皆無の2年間でした。

8年ぶりに初等中等教育局に戻った早々、海外の日本人学校に赴任する先生方への辞令交付式や、REXプログラムの事前研修などに立ち会うことができました。苦労を覚悟で新しい世界に飛び込もうとする先生方の熱い思いや、それを支える方々の真摯な取組を目の当たりにして、常にクールが売りの(?)私の中でも、着任10日間にして、密かに何か盛り上がっているのを感じます。

外国語教育推進室室長補佐 (併)外国語教育推進専門官 伊藤文昭

4月1日付けで京都府教育庁から参りました。教員として、また教育委員会事務局の指導主事として英語教育にかかわってきた経験を活かして、新しい仕事にチャレンジしたいと思っています。

ご迷惑をおかけすることがあるかとも思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

海外子女教育専門官 牧野 映也

4月から海外子女教育専門官としてお世話になることになりました。

10年ほど前に1年間ですが、当時の海外子女教育課の教職員派遣係でお世話になった経験があり、それ以来、久々に海外子女教育関係の仕事をしていただくことになりました。

海外子女教育を充実させていく上での課題は少なくないとは思いますが、微力ながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

教職員給与係長 高橋 信雄

4月1日付けで教職員給与係長を拝命しました高橋信雄と申します。

国際教育課では、平成17年4月～18年8月の間、適応・日本語指導係長をさせていただいた事があり、2年8ヶ月ぶりとなります。しかし、当時は帰国・外国人児童生徒関係を担当しており、また、3月までの前職は、内閣府で食育の推進を担当しておりましたので、在外教育施設の関係は全く初めての経験となります。

このため、至らぬ点も多いかと思いますが、皆様のお役にたてるよう精一杯取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

**庶務・助成係長
(併) 在外教育施設指導係長
小島 英樹**

4月1日付で、庶務・助成係長(併) 在外教育施設指導係長を拝命しました小島英樹と申します。

これまで、大臣官房会計課において、会計業務に携わってきており、昨年度初めて初等中等教育局に異動になりました。昨年度は全国学力・学習状況調査及び学校評価を担当する部署にて業務を遂行し、初等中等教育の業務の一部を経験することができました。

今般、国際教育課への異動に伴い、初めて国際教育関係業務に携わることになりました。国際教育課の業務全般を総括する立場にあり、その重責を感じているところです。

微力ではありますが、国際教育の更なる発展のために頑張りたいと思っています。

何卒よろしくお願いいたします。

教職員給与係 柴沼 睦

4月1日付けで、内閣府より教職員給与係に参りました柴沼睦と申します。

3月までは内閣府国際平和協力本部事務局にお

り、他省庁からの出向者に囲まれた生活を送っていましたが、4月より自分自身が出向の身となり、周りの皆様にお世話になりながら色々と勉強の日々を送っております。

至らぬ点が多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

教職員派遣係 小宅 直樹

4月1日付けで教職員派遣係に就任致しました、小宅直樹と申します。3月まで大臣官房国際課の方で、日本国内の外国人学校の担当をしておりました。

在外教育施設への教員の方々の派遣業務担当ということで、今までとはある意味逆の業務に携わるわけですが、少しでもお役に立てるよう、日々努力して参りたいと思っておりますので、皆様のご指導の程、よろしくお願い致します。

教職員派遣係 前田 綾香

4月1日付、国立大学法人東京学芸大学より研修生として参りました、前田綾香と申します。

東京学芸大学では学務部に所属し、窓口業務のほか、学部の時間割関係・卒業関係・単位認定等を担当しておりました。

教員養成大学の職員としても、自身としても、海外子女教育の一層の充実に向けて、その業務の一端に携わることができることを嬉しく思っております。

どうかご指導のほど宜しくよろしくお願いいたします。

庶務・助成係 青木 知佳

4月1日付けで庶務・助成係に参りました青木知佳と申します。

社会人1年目で、右も左も分からず、毎日が緊張の連続ですが、国際教育課という素晴らしい課に配属して頂けたことに感謝します。一日でも早く仕事を覚え、多くのことを学び、吸収していけるように頑張りたいと思いますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。

在外教育施設指導係 程塚 千晶

4月1日付で在外教育施設指導係に参りました程塚千晶を申します。

3月までは高等学校で書道の非常勤講師として教壇に立っておりました。

今まで関わったことのなかった分野での仕事のため、勉強の毎日です。一日も早く職場に慣れ、皆様のお役に立てるよう精一杯努力してまいります。

ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、ご指導のほど宜しく願いいたします。

**適応・日本語指導係
専門職 秋月 真也**

4月1日付けで国際教育課適応・日本語指導係に配属となりました秋月といいます。十数年間教員として中学校に勤務した後、昨年度は浜松市教育委員会で、英語の指導主事を行っておりました。

学校現場以外のことはほとんど何も知らない自分ですので、皆さんに迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

国際理解教育係 湯浅 一哉

大阪大学より国際業務研修生としてお世話になる湯浅と申します。

大阪大学では、約5年間附属病院に所属しており、医事関係および総務関係の業務に従事しておりました。

国際教育の業務については、これまでに携わったことがなく、不安な面も少なくありませんが、国際業務に携わることができる喜びを噛みしめつつ、少しでも早い段階で皆様のお役に立てるよう努力したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

**外国語教育推進室 企画調整係
大橋 史明**

今年度より愛知県豊橋市から企画調整係に向になりました。よろしくお願い致します。

昨年度までは、豊橋市の広報紙を作成したり

ホームページの管理をしたりしており、取材で市内を飛び回る毎日でした。教育に関する業務を何も知らない私ですが、広報紙の編集などでは教育制度を分かりやすく市民に伝えるよう工夫をしてきていました。

教育をだれにでも分かるように表現するお手伝いができればと思います。

**外国語教育推進室 事業推進係
金子 宜央**

4月1日付けで事業推進係に参りました金子宜央と申します。

3月までは国際統括官付ユネスコ第一係で、主に日本ユネスコ国内委員会事務局の予算執行等に従事しておりました。

国際関係の事業担当は今回が初めてですが、以前にお世話になりました教科書課での知識・経験等を活かして、業務に励みたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

**外国語教育推進室 事業推進係
花田百合**

4月1日付けで、京都市立嵐山小学校から研修生として外国語教育推進室事業推進係に参りました、花田百合と申します。

3月まで、学校現場で1年生を担当していました。学校とこちらでは、一日の流れや仕事の内容が大きく違い、発見ばかりの毎日です。

不慣れな分、いろいろとご迷惑をおかけするかと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

国際教育課「気球船」編集部
本誌へのご意見、ご感想をお待ちしています。下記までご連絡ください。

連絡先：E-mail:kokukyo@mext.go.jp

こちらも随時募集中です。

○投稿記事

(原稿料は出ません。ご了承ください。)

○新規配信依頼



《編集後記》

うらかな好季節を迎えましたが、皆様いかがお過ごしですか。4月より、国際教育課も新たなメンバーを迎え、新体制で行っております。年度初めでお忙しいことと思いますが、皆様、くれぐれもご自愛ください。

さて、気球船は今後も2ヶ月に1回のペースで発行をしていく予定です。

今後ともよろしく願いいたします。

(3・4月号担当 在外教育施設指導係)

～3・4月号の内容～

【世界の窓】—————1

○世界に4校、準全日制補習校 -----1

グアダラハラ補習授業校校長 長田和司

【トピックス】—————3

○上海・杭州日本人学校を見て -----3

初等中等教育局児童生徒課

生徒指導第一係 岡本泰弘

○「国際理解教育実践事例集

中学校・高等学校編」のご案内 ----- 4

国際理解教育第一係 是國 裕光

【事務連絡】—————5

○人事異動のお知らせ -----5

【退任者挨拶】—————5

【就任者挨拶】—————9